

## 流向流速ベクトル分布、波浪分布データフォーマット について

流向流速、波浪分布データは、以下のフォーマットで保存されています。

### (1) ファイル名

YYYY\_MM\_DD\_HH\_02. cht

YYYY: 年 (西暦 4 桁)

MM: 月 (01~12)

DD: 日 (01~31)

HH: 時 (00~23)

### (2) ファイル形式: テキスト形式

### (3) ファイルの内容: 流向流速ベクトル、波浪 (有義波高、有義周期)

### (4) データフォーマット

Lat Lon U\_COMP V\_COMP WaveHeigt WavePeriod WaveDir IY IX FLAG

#### Lat: (N:北緯)

格子点の緯度を示す。

d. dddddddddddddd

例: 北緯 33 度 10 分 20 秒 → 33.1722222222222

#### Long: (E:東経)

格子点の経度を示す。

d. dddddddddddddd

例: 東経 132 度 48 分 11 秒 → E132.8030556000000

#### U\_COMP:

流速ベクトルの東西成分(東向きがプラス)。単位は[cm/sec]。[-999.9]は無効データ。

#### V\_COMP:

流速ベクトルの南北成分(北向きがプラス)。単位は[cm/sec]。[-999.9]は無効データ。

#### WaveHeigt :

有義波高。単位は[cm]。[-999.9]は無効データ。

#### WavePeriod :

有義周期。単位は[sec]。[-999.9]は無効データ。

#### WaveDir :

平均波向。単位は[度]。[-999.9]は無効データ。※解析していません。

#### IY: 南北方向格子点番号

表示座標系原点から東西(Y軸)方向への格子点を記述する。

#### IX: 東西方向格子点数

表示座標系原点から南北(X軸)方向への格子点数を記述する。

#### FLAG: 補間データの有無

0: 実測値データ、16: 補間値データ